

仕様書別紙

項 目	性 能 等
1. 重症病室用高機能ベッド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般医療機器として医療機器承認を得たベッド2台を有すること。</li> <li>・全幅106.7cm・全長229.2cm以上で最大35cm長さの延長が可能であること。</li> <li>・耐荷重は249.5kg以上あり、最大患者体重は226.8kgであること。</li> <li>・床から寝台底部まで29.2cm以下の低床であること。</li> <li>・サイドレールが左右にスライドするデザインであること。</li> <li>・サイドレールは3段階の位置でロックが可能であること。</li> <li>・サイドレールは一つのボタン操作により、安全面に配慮しつつ、床上、端座位、座位ポジションが取れリハビリが可能であること。</li> <li>・メイン操作パネル（フットボードに設置）は直感的操作が可能なアイコンを採用し、操作が可能であること。</li> <li>・背・膝・下腿・高さ・トレンドレンバーク（以下TRと略す）及びリバーストレンドレンバーク（以下RTRと略す）がそれぞれ単独で電動操作でき、背上げと膝上げは連動して操作が可能であること。</li> <li>・背・膝・下腿・高さ・TR/RTR・座位姿勢などの調整は、操作パネルによって操作が可能であること。</li> <li>・背板部の最大対応角度は65°以上の機能を有すること。</li> <li>・膝部の最大対応角度は30°以上の機能を有すること。</li> <li>・エアマットはゲルとエアーを組み合わせた構成であること。</li> <li>・マットレスの厚さは患者の負担を軽減できる機能を有し、20.3～26.7cmの範囲内の厚みを持つこと。</li> <li>・マットレスは30°以上の自動体交機能を有すること。</li> <li>・褥瘡予防の為、マットレスは体表付近の湿潤環境を軽減するマイクロクライメット管理が可能な機能を有すること。</li> <li>・ベッド上の患者の体重を測定し表示するスケール機能を有すること。</li> <li>・スケールの測定可能範囲は27.2kg～249.5kgの範囲内で測定が可能であること。</li> <li>・機器の追加/削除が可能なスケール機能を有すること。</li> <li>・体重計は寝台がフラット以外でも測定可能で且つ、最大40ログ記録することが可能であること。</li> <li>・患者の離床センサーを有すること。</li> <li>・ベッドには酸素ボンベが装着できるボンベホルダーを有すること。</li> <li>・3面に電子ブレーキボタンを搭載していること。</li> <li>・IVポールを2本搭載していること。</li> <li>・電動ブレーキ、充電用USB付きスマートホンフォルダー、フットボード下に補助コンセント2口、WIFI機能等有用な機能が充実していること。</li> <li>・床から寝台底部まで35.6cm以下であること。</li> <li>・フレーム一体型専用マットレスを搭載していること。</li> <li>・マットレスの縁は、リハビリを行いやすい様にウレタン素材であること。</li> <li>・患者の体重、位置、およびサイドレールの位置を考慮しながら、エアポッドを自動調整する4ゾーンセンサー技術を有していること。</li> <li>- マットレスは、最大膨張を含む4段階の硬さ調節を行える機能を有すること。</li> <li>・マットレスは、肺治療に特化した自動体交機能を有すること。</li> <li>・ベッド搬送時の走行アシスト機能を有すること。</li> </ul>
2. 汎用重症病室用高機能低床ベッド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般医療機器として医療機器承認を得たベッド6台を有すること。</li> <li>・全幅106.7cm・全長229.2cm以上で最大35cm長さの延長が可能であること。</li> <li>・耐荷重は249.5kg以上あり、最大患者体重は226.8kgであること。</li> <li>・床から寝台底部まで29.2cm以下の低床であること。</li> <li>・サイドレールが左右にスライドするデザインであること。</li> <li>・サイドレールは3段階の位置でロックが可能であること。</li> <li>・サイドレールは一つのボタン操作により、安全面に配慮しつつ、床上、端座位、座位ポジションが取れリハビリが可能であること。</li> </ul>

<p>3. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイン操作パネル（フットボードに設置）は直感的操作が可能なアイコンを採用し、操作が可能であること。</li> <li>・背・膝・下腿・高さ・トレンデレンバーク（以下TRと略す）及びリバーストレンデレンバーク（以下RTRと略す）がそれぞれ単独で電動操作でき、背上げと膝上げは連動して操作できること。</li> <li>・背・膝・下腿・高さ・TR/RTR・座位姿勢などの調整は、操作パネルによって操作が可能であること。</li> <li>・背板部の最大対応角度は65°以上の機能を有すること。</li> <li>・膝部の最大対応角度は30°以上の機能を有すること。</li> <li>・エアマットはゲルとエアーを組み合わせた構成であること。</li> <li>・マットレスの厚さは患者の負担を軽減できる機能を有し、20.3～26.7cmの範囲内の厚みを持つこと。</li> <li>・マットレスは30°以上の自動体交機能を有すること。</li> <li>・褥瘡予防の為、マットレスは体表付近の湿潤環境を軽減するマイクロクライメット管理が可能な機能を有すること。</li> <li>・ベッド上の患者の体重を測定し表示するスケール機能を有すること。</li> <li>・スケールの測定可能範囲は27.2kg～249.5kgの範囲内で測定が可能であること。</li> <li>・機器の追加/削除が可能なスケール機能を有すること。</li> <li>・体重計は寝台がフラット以外でも測定可能で且つ、最大40ログ記録することが可能であること。</li> <li>・患者の離床センサーを有すること。</li> <li>・ベッドには酸素ボンベが装着できるボンベホルダーを有すること。</li> <li>・3面に電子ブレーキボタンを搭載していること。</li> <li>・IVポールを2本搭載していること。</li> <li>・電動ブレーキ、充電用USB付きスマートホンフォルダー、フットボード下に補助コンセント2口、WIFI機能等有用な機能が充実していること。</li> </ul> <p>・搬入、設置等費用を含めること。</p> <p>※同等品可</p>
---------------	---